



# 青少年育成福井市民会議 湊支部だより

第66号

発行日 令和4年3月30日

発行 青少年育成福井市民会議

湊支部

事務局 湊公民館 ☎22-0032

## 《自治会内巡回点検》

令和3年度も、新型コロナウイルスがますます拡大し、支部総会を書面決議とするなど支部活動に多大な影響を受けました。

しかし、青少年育成推進員の皆様の協力により、昨年夏自治会内巡回点検は実施しました。この点検は、推進員が居住する自治会周辺の危険個所を点検するものです。

点検の結果、公園のシーソーの修復・新設、ガードレールの変形、「止まれ」などの道路表示が消えている、歩道タイルのぐらつき等38件の報告がありました。報告のあった個所を市民会議環境整備部会の担当者が確認し、関係機関に改善の要望書を提出しました。

要望書提出先

福井県土木事務所 福井警察署

福井市道路課 福井市公園課

## 雪道ウォッチング in 湊 2022

雪道ウォッチングは、青少年育成推進員と湊小学校の児童が一緒に、雪が降った時の危険個所を点検するものです。しかしながら、1月下旬に湊小学校児童が新型コロナウイルスに感染し休校になったことなどから昨年に続き中止することとしました。

このための代替策として、湊小学校児童に通学路などの危険個所についてのアンケートを実施しました。結果、児童・父兄の方から危険個所などにつき多くのご意見をいただきました。(地図・写真も記載した詳細なご意見もいただきました。) ありがとうございました。

危険個所とご報告いただいた個所については、湊小学校PTA・湊地区子ども会育成会・市民会議の3団体において点検し、関係機関に要望書などを提出いたします。

児童から寄せられたアンケート、父兄からのご意見は裏面に掲載しました



青少年育成福井市民会議湊支部では、  
学童下校安全見守り活動を行っています

湊小学校児童の下校見守りについては、湊地区学童安全見守りプロジェクトにおいて、湊地区各団体の協力のもと毎週月曜日に行ってています。

## 寄贈

湊小学校児童の見守り活動に使用するため、  
小学校に器材を  
寄贈しました。



三角コーン 25個  
コーンバー(黒・黄色)  
20本

## 児童へのアンケートから寄せられた危険な箇所

場所	状況
花月4丁目	村上大理石前の交差点 歩道から歩道のない道路へうつるとこになるので、出会い頭にぶつかりそうになる。注意が必要。
花月4丁目	黒田印判横駐車場 大通りから駐車場の方へ（逆も）朝は自転車も車の通行も多く、児童たちが横切る際に危ないと感じる。止まれの表示はない。
花月5丁目2-5付近	交差点 歩道が狭く車が結構通るので危ない。
花月4～5丁目	東明里公園から西への通学路 雪が降ると除雪があまりされていない為車が通ると歩行者は雪の上の乗らないといけないので児童には危ない。
花月3丁目	さくら通り動物病院付近交差点 通常は大丈夫。雪が降り除雪が入ると雪捨て場となり通れない。もしくは見えない状態になる。
光陽1丁目	光タクシー前 歩道が狭く車が結構通るので危ない。
学園2丁目	学研教室北側交差点など 光タクシー前のタイルがういでいる。
学園1丁目	メゾンたけうち東側砂利駐車場 電柱横のマンホールが高い為つまずいて転倒しそうになった。
学園1丁目5-5付近	学校グランド横の駐車場 車が迂回路に使うので交差点の所に「一旦停止」標示が欲しい。
学園1丁目	学園焼肉大蔵前 業者トラックが止まるとき歩道にはみ出して止まつており児童たちが車道に出て歩いていた。
光陽1～2丁目	ファミマ・焼肉バリバリ付近 信号待ちの児童が多いとき（3グレープぐらい重なったとき）歩道からあふれ出でしまうため車と接触する恐れがある。信号が変わると児童が渡り切れないので危険。
光陽1～2丁目	中浜公園前～湊公園前の道 公園前にもかかわらず一直線の道だから猛スピードで走る車を時々見るので怖く感じています。
境目付近	湊公園通り沿いの細い道 高く大きく積まれた雪山が曲がり角にあり西から東に走ってくる車が全く見えない。車の運転手もスピードを落とすことがないので歩行者が出てきたらびっくりする。
光陽2丁目	学園ビルそば 家屋から後ろ向きで出てくる車が危ない。
光陽2丁目	松本通り横断歩道 青信号の時間が短い。赤信号の時間が長いので信号待ちの間自転車が通るとぶつかりそうなので危ない。
日光2丁目	松本通りから日光公園までの道 雪で白線の内側を歩くことができない。車道を歩かなければならず車が通ると危ない。
日光2丁目	「かかし」交差点 事故が多い。
日光2丁目	元十字号モルモン駐車場 3列になり歩いている。危ない。ふざけて車道に飛び出しているのを見た。
通学中の危険な行為	傘の時2列は危ないので？ 雪の時、投げて遊んでいる子がいる。車などに当たりそうになり危ない。車道に投げている児童もいた。

## 父兄より寄せられたご意見

今年は積雪の際も登校ルートの歩道を確保するため同じ登校班の保護者同士で積雪状況や危険箇所をグループで写真を送るなどし情報共有をしています。そして業者などの除雪により歩道がよきがれた場合は、校長から業者に「歩道は確保してほしい」と直接お願ひして頂いたおかげで今年は雪によって登校ルートを変更することなく登下校ができると思っています。ただ、そんな中登校班でも他の登校班でも自分の子供がどんな状況で登下校しているか全く無関心な保護者もいます。歩道が歩けない為、朝の通勤ラッシュ時（車も急いでいる時間帯）に車道を児童だけで歩いている班もあると聞きます。積雪が15cmくらいあっても長靴を履かずに入二ーカーで登校している児童、それを許している保護者の無関心なこと。何でも学校任せPTA任せにするのではなく「自分達の子供は自分達で守る！」というような。まずは「保護者としての責任」を各保護者が自覚して頂かない事故が起つてからでは遅いと思います。